

災害等による非常停電時に学内施設に電力を供給する
太陽光発電・蓄電池システムの導入

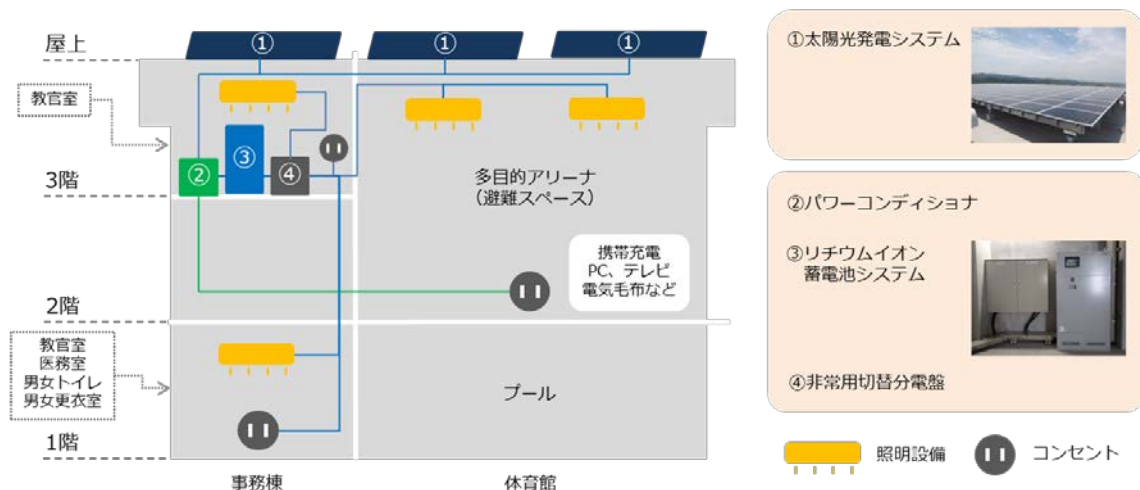
平成27年7月吉日
学校法人浪商学園

現在、発生が懸念されている南海トラフ地震や台風等の自然災害による非常時の対策が社会的に求められる中、本学園においては学内大規模施設を臨時避難所として使用する計画を立てております。非常時には電力の供給がストップする事も想定され、その様な事態においても避難所運営に必要な電力を確保できる様、この度、新たに自家消費用太陽光発電システム・蓄電池システムを導入いたしました。

今回の導入に関しては、「平成26年度独立型再生可能エネルギー発電システム等対策費補助金 地域再生可能エネルギー発電システム等導入促進対策事業」として経済産業省より採択を受け、大阪体育大学 第6体育館に自家消費用太陽光発電システムとリチウムイオン蓄電池システムの連携システムを導入しています。

通常時には、第6体育館で使用する電力の一部を太陽光発電電力で賄い、CO2排出を低減した施設運営を目指すほか、自然災害発生等、有事の際には第6体育館を臨時避難所として開放し、停電が発生した際には本システムから避難所運営に必要な電力を供給する事を目的としています。

■大学第6体育館 太陽光発電蓄電池システム概要図（停電時）



第6体育館は3階建施設で、1階は室内プール、2階にはレクチャールーム、3階は多目的に利用できるアリーナとなっており、通常時は学内の講義や部活動に利用しています。停電が発生した際には、本システムから電力を供給し、3階の多目的アリーナの照明設備を点灯、コン

セント設備（携帯電話の充電等）の利用を可能にするほか、1階の男女更衣室、男女トイレ、医務室にも電力を供給し、PC、テレビ等の情報取得機器や救護者向けに電気毛布などの利用を想定した電力確保を行います。

本学園では非常用電力の確保以外にも食糧の備蓄等、自然災害の発生による非常時の対策を強化してまいりますので、皆様のご理解、ご協力を頂くよう、宜しくお願いいたします。

大阪体育大学 第6体育館



太陽光発電システム（屋上）



リチウムイオン蓄電池システム (館内)

